



## 2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年8月13日

上場会社名 株式会社アプリックス 上場取引所 東  
コード番号 3727 URL <https://www.aplix.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 倉林 聡子  
問合せ先責任者（役職名） 経営管理部担当部長（氏名） 岩井 俊輔（TEL）050-3786-1715  
半期報告書提出予定日 2025年8月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		事業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	1,508	△20.7	75	△25.8	82	△17.7	64	△12.2	64	△12.2	64	22.1
2024年12月期中間期	1,904	△0.5	102	△28.1	99	△50.5	73	△58.3	73	△58.3	53	△75.1

（注）事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	2.98	2.97
2024年12月期中間期	3.35	3.33

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	3,741	2,583	2,583	69.0
2024年12月期	3,885	2,594	2,594	66.8

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	3.50	3.50
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	3.50	3.50

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年12月期年間配当（期末）の内訳 普通配当：2円50銭 初配記念配当：1円00銭

### 3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		事業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	3,767	1.6	165	△27.3

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 株式会社H2

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期中間期	21,886,130株	2024年12月期	21,886,130株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	129,687株	2024年12月期	129,687株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年12月期中間期	21,756,443株	2024年12月期中間期	22,065,515株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約中間連結財政状態計算書	4
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	6
要約中間連結損益計算書	6
要約中間連結包括利益計算書	7
(3) 要約中間連結持分変動計算書	8
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当中間連結会計期間(2025年1月1日～2025年6月30日)における我が国の経済は、内閣府による2025年6月の月例経済報告では「景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。」と報告されています。先行きについては、「雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。」と報告されており、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは当中間連結会計期間において以下の施策に取り組んでまいりました。

なお、セグメント間の内部売上収益は、セグメントの売上収益に含めております。

セグメントの業績は以下のとおりです。

#### <ストックビジネス事業>

ストックビジネス事業においては、主に2025年2月に新サービスとして発表したリテールメディアプラットフォーム「BRIDGE AD」のサービスインに向けてロケーションオーナーやアプリオーナー等の関係各所との交渉や契約締結、またシステム面の構築に努めました。また、これまでと同様に連結子会社であるスマートモバイルコミュニケーションズ株式会社における音声・通信サービスの提供、クラウドSIMを用いたモバイルWiFiルーター「THE WiFi」の拡販に注力するとともに、本事業は収益の大半が月額利用料金等からなるストック性の高い事業であることから、顧客が満足して継続利用できるような通信環境やサポート等のサービス品質の向上に取り組みました。なお、「THE WiFi」については株主に対する「THE WiFi」の浸透を図ることを目的として、本年4月に株主限定プランとして来年2026年3月末まで無料で利用可能な特別プランを先着1,000名限定で実施しました。これらと併せて通信機能付きAIドライブレコーダー「AORINO」の取次店や販売代理店、OEM先の開拓を行うとともに、法人向けサービス「AORINO Biz」の拡販に注力しました。

また、前連結会計年度において完全子会社化した株式会社H2、及びその子会社である株式会社スマートライフが展開していた光回線・プロバイダー関連サービスの拡販に取り組みました。なお、株式会社スマートライフについては2024年10月1日付で実施した株式会社H2による吸収合併に伴い、また株式会社H2については2025年1月1日付で実施したスマートモバイルコミュニケーションズ株式会社による吸収合併により、それぞれ同日付で解散しております。

#### <システム開発事業>

システム開発事業においては、ロケーションビーコン「MyBeaconシリーズ」の拡販に努めたほか、Bluetooth Low Energy通信機能を搭載するハードウェアの試作開発支援等、組込み開発技術を生かしたシステム開発を行いました。また、クラウド関連システムの開発や顧客のニーズに応じたフロントエンドシステムやバックエンドシステムの開発支援やテクニカルサポート等を行いました。

これらの結果、当中間連結会計期間のストックビジネス事業の売上収益は1,326,308千円(前中間連結会計期間の売上収益1,628,615千円)、システム開発事業の売上収益は188,491千円(前中間連結会計期間の売上収益288,445千円)となりました。

事業損益につきましては、ストックビジネス事業の事業利益は159,540千円(前中間連結会計期間の事業利益188,572千円)、システム開発事業の事業利益は20,477千円(前中間連結会計期間の事業利益29,434千円)となりました。

また、当中間連結会計期間においてセグメント利益の調整額が104,229千円(前中間連結会計期間のセグメント利益の調整額115,780千円)発生しております。セグメント利益の調整額は、中間連結損益計算書の事業利益と調整を行っております。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上収益は1,508,782千円(前中間連結会計期間の売上収益1,904,255千円)となりました。

事業損益につきましては、75,788千円の事業利益(前中間連結会計期間の事業利益102,226千円)となりました。  
営業損益につきましては、84,823千円の営業利益(前中間連結会計期間の営業利益102,363千円)となりました。  
親会社の所有者に帰属する中間利益につきましては、64,750千円(前中間連結会計期間の親会社の所有者に帰属する中間利益73,813千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当中間連結会計期間末における資産につきましては、前連結会計年度末と比較して144,220千円減少し、3,741,490千円となりました。これは、営業債権及びその他の債権が78,072千円、現金及び現金同等物が67,055千円減少、棚卸資産が24,065千円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して132,823千円減少し、1,158,386千円となりました。これは、営業債務及びその他の債務が49,950千円、借入金が48,574千円、繰延税金負債が14,180千円減少したこと等によるものです。

資本につきましては、前連結会計年度末と比較して11,397千円減少し2,583,103千円となりました。これは、利益剰余金が10,600千円減少したこと等によるものです。

以上の結果、当中間連結会計期間末における親会社所有者帰属持分比率につきましては、前連結会計年度末と比較して2.2ポイント増加し、69.0%となりました。

当中間連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して67,055千円減少し1,256,503千円となりました。

当中間連結会計期間のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動の結果増加した資金は、127,327千円(前中間連結会計期間は38,488千円の減少)となりました。これは主に税引前中間利益82,108千円、営業債権及びその他の債権の減少76,479千円、減価償却費及び償却費71,702千円、営業債務及びその他の債務の減少50,125千円によるものであります。

投資活動の結果減少した資金は、60,574千円(前中間連結会計期間は884,117千円の減少)となりました。これは主に無形資産の取得による支出60,021千円によるものであります。

財務活動の結果減少した資金は、133,611千円(前中間連結会計期間は376,874千円の増加)となりました。これは主に配当金の支払額74,692千円、長期借入金の返済による支出49,998千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の通期連結業績予想につきましては、2025年2月14日付「2024年12月期決算短信〔IFRS〕(連結)」において公表した数値から変更ありません。

## 2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,323,558	1,256,503
営業債権及びその他の債権	467,120	389,048
棚卸資産	85,292	109,358
未収法人所得税	445	60
その他の流動資産	19,737	16,268
流動資産合計	1,896,155	1,771,237
非流動資産		
有形固定資産	2,181	1,724
使用権資産	25,703	18,858
のれん	893,046	893,046
無形資産	896,637	892,257
その他の金融資産	141,921	142,090
契約コスト	30,066	22,276
非流動資産合計	1,989,556	1,970,252
資産合計	3,885,711	3,741,490

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	320,859	270,909
借入金	197,320	197,664
リース負債	17,868	15,731
未払法人所得税	30,698	30,187
その他の金融負債	39,988	36,312
その他の流動負債	76,595	69,917
流動負債合計	683,329	620,722
非流動負債		
借入金	321,137	272,218
リース負債	14,329	7,571
引当金	9,927	9,927
その他の金融負債	61,628	61,648
繰延税金負債	199,530	185,350
その他の非流動負債	1,328	948
非流動負債合計	607,880	537,664
負債合計	1,291,209	1,158,386
資本		
資本金	62,556	62,556
資本剰余金	1,842,759	1,841,961
利益剰余金	715,660	705,060
自己株式	△26,474	△26,474
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,594,501	2,583,103
資本合計	2,594,501	2,583,103
負債及び資本合計	3,885,711	3,741,490

## (2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

## 要約中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上収益	1,904,255	1,508,782
売上原価	1,404,188	1,014,462
売上総利益	500,067	494,320
販売費及び一般管理費	397,840	418,531
事業利益	102,226	75,788
その他収益	136	9,034
その他費用	0	—
営業利益	102,363	84,823
金融収益	1,414	2,795
金融費用	3,919	5,509
税引前中間利益	99,857	82,108
法人所得税費用	26,076	17,358
中間利益	73,781	64,750
中間利益の帰属		
親会社の所有者	73,813	64,750
非支配持分	△32	—
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	3.35	2.98
希薄化後1株当たり中間利益(円)	3.33	2.97



## 要約中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間利益	73,781	64,750
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	△20,776	—
税引後その他の包括利益	△20,776	—
中間包括利益	53,005	64,750
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	53,037	64,750
非支配持分	△32	—

## (3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額	合計		
2024年1月1日現在 残高	51,456	1,935,757	603,558	△26,461	△15,352	2,548,958	5,682	2,554,641
中間包括利益								
中間利益	—	—	73,813	—	—	73,813	△32	73,781
その他の包括利益	—	—	—	—	△20,776	△20,776	—	△20,776
中間包括利益合計	—	—	73,813	—	△20,776	53,037	△32	53,005
所有者との取引額等								
資本剰余金から利益剰余金への振替	—	△543	543	—	—	—	—	—
連結子会社株式の取得による持分の増減	—	349	—	—	—	349	△5,650	△5,301
自己株式の取得	—	△554	—	△60,348	—	△60,902	—	△60,902
所有者との取引額等合計	—	△748	543	△60,348	—	△60,553	△5,650	△66,203
2024年6月30日現在 残高	51,456	1,935,008	677,915	△86,809	△36,128	2,541,443	—	2,541,443

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計	
2025年1月1日現在 残高	62,556	1,842,759	715,660	△26,474	2,594,501	2,594,501
中間包括利益						
中間利益	—	—	64,750	—	64,750	64,750
中間包括利益合計	—	—	64,750	—	64,750	64,750
所有者との取引額等						
配当金	—	—	△76,147	—	△76,147	△76,147
資本剰余金から利益剰余金への振替	—	△797	797	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△797	△75,350	—	△76,147	△76,147
2025年6月30日現在 残高	62,556	1,841,961	705,060	△26,474	2,583,103	2,583,103

## (4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	99,857	82,108
減価償却費及び償却費	28,770	71,702
賠償金	—	△4,925
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△50,842	76,479
棚卸資産の増減(△は増加)	1,572	△24,065
契約コストの増減額(△は増加)	4,921	7,790
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△76,254	△50,125
その他	△35,709	△3,677
小計	△27,684	155,287
利息及び配当金の受取額	14	395
利息の支払額	△2,298	△3,210
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△8,520	△31,664
賠償金の受取額	—	6,518
営業活動によるキャッシュ・フロー	△38,488	127,327
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△776	—
無形資産の取得による支出	△17,749	△60,021
敷金及び保証金の差入による支出	△4,320	△553
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△861,271	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△884,117	△60,574
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入による収入	100,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△200,000
長期借入による収入	491,000	—
長期借入金の返済による支出	△39,106	△49,998
リース負債の返済による支出	△8,815	△8,920
自己株式の取得による支出	△60,902	—
配当金の支払額	—	△74,692
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△5,301	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	376,874	△133,611
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	299	△196
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△545,431	△67,055
現金及び現金同等物の期首残高	1,807,658	1,323,558
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,262,227	1,256,503

## (5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは製品・サービス別セグメントから構成されており、「ストックビジネス事業」と「システム開発事業」の2つを報告セグメントとしております。

## (2) 報告セグメントの情報

報告セグメントの利益は、事業利益※ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益は市場実勢価格に基づいております。

※ 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	要約中間 連結財務諸表計 上額
	ストック ビジネス事業	システム 開発事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	1,628,410	275,845	1,904,255	-	1,904,255
セグメント間の内部売上 収益	204	12,600	12,804	△12,804	-
計	1,628,615	288,445	1,917,060	△12,804	1,904,255
事業利益	188,572	29,434	218,007	△115,780	102,226
その他収益					136
その他費用					0
営業利益					102,363
金融収益					1,414
金融費用					3,919
税引前中間利益					99,857

(注1) 事業利益の調整額△115,780千円には、セグメント間取引消去△2,204千円、各事業セグメントに配分していない全社費用△113,575千円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	要約中間 連結財務諸表計 上額
	ストック ビジネス事業	システム 開発事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	1,322,391	186,391	1,508,782	-	1,508,782
セグメント間の内部売上 収益	3,916	2,100	6,016	△6,016	-
計	1,326,308	188,491	1,514,799	△6,016	1,508,782
事業利益	159,540	20,477	180,017	△104,229	75,788
その他収益					9,034
その他費用					-
営業利益					84,823
金融収益					2,795
金融費用					5,509
税引前中間利益					82,108

(注1) 事業利益の調整額△104,229千円には、セグメント間取引消去5,087千円、各事業セグメントに配分していない  
 全社費用△109,316千円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であ  
 ります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。